令和２年度第２回人材育成連携協定に基づく連絡・調整会議を開催しました

令和３年２月１０日
広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、当署と広島県森林組合連合会及び広島県立庄原実業高等学校の３者が相互に連携・協力して、庄原実業高等学校環境工学科で林業を学ぶ生徒に対し継続した森林環境教育を提供することにより、次世代を担う人材育成に民国連携して取り組むことを目的とした「人材育成連携協定」を締結しています。

また、この協定の円滑な推進を図るため、年２回３者による連絡・調整会議を行うこととしており、2 月 10 日今年度第 2 回目の連絡・調整会議を庄原実業高等学校で行いました。

連絡・調整会議の様子

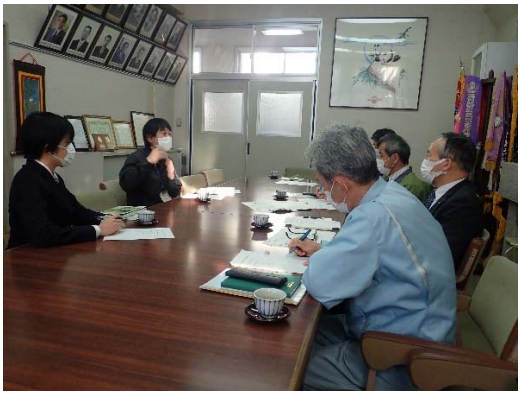
今回の連絡・調整会議は、令和３年度の森林環境教育カリキュラムについて、学校からの要望を聞くスタイルで行いました。

学校からは、従来の座学に加え、実際の作業現場での実習を増やし、林業に必要な資格講習を組み合わせることなどにより、更に生徒が林業に興味を持つような森林環境教育にしたいとの要望がありました。

広島県森林組合の説明

広島北部森林管理署と広島県森林組合連合会では、学校からの要望を受け、来年度のカリキュラム案作成作業を進め、早期に提案・調整することで、年度内には、カリキュラムを決定していきたいと考えています。

広島北部森林管理署の説明



庄原実業高校からの要望

資料を確認する協定３者